

校長室から (N0. 15)

見通しのある仕事

冬休み前の話になります。

本校の掲示担当者は、季節に応じた掲示物を準備し、学校環境を楽しく明るいものにしてくれています。

その掲示物から、ある気づきをいただきました。

左下は、11 月のものです。その右側は、12 月のものです。「どこが違うかな？」と間違い探しのようなクイズをしたら、誰もが簡単に答えられるでしょう。

そうです。「サンタクロースの帽子」です。



帽子をかぶせただけで、その掲示板は、それほど手をかけずに時節に応じた楽しいものに変身していました。おかげで、2か月間も掲示板を見るたび、笑顔にさせてもらいました。

それで、思ったのです。「仕事も、かくありたい」と。

働き方改革、多忙化解消、教育改革等が求められ、その方策として、ビルド&スクラップ、縮小化、精選といったことが上げられます。これらのキーワードは大切な視点であります。

さらに、今回、この「みのむしさん」から教わったことは、「見通し」＝（次の展開を予想してみる）と、「アレンジ」＝（すでにあるものにちょこっと手を加える）が、**仕事の効率化を図る「鍵」**となるのではないかということです。

いずれにしても、柔軟な発想力が必要だな、頭を柔らかくしておかないと、という気持ちになりました。

